

ねりとう GOLF

練馬稲門会ゴルフ部会会報（年2回発行）

2010年夏 Vol.4

「新入会員を囲む懇親会」を開催

今年の梅雨が明けて一転、練馬区では最高気温37.6℃を記録した7月22日(木)正午から、区内中華料理店「茶平」の2Fに於いて「ねりとうGOLF」メンバー32名が参加し、暑気払いを兼ねて納涼懇親会を開催しました。参加者は、昨年末より今春までにゴルフ部会への新規入会登録20名と既会員85名との親睦を深めるのが狙いです。

因みに毎年7、8月、そして1、2月は月例コンペの中休みであるため、多くの会員からのリクエストにより企画したものですが、会場では会食を挟みながら、新入会員の自己紹介やユニークな発言があつたり、又年配者・既会員からの含蓄あるゴルフ談義があつたりと所要の2時間は時の経つのも忘れ、終始フレンドリーでなごやかな懇親会となりました。

終わりに、来年2月上旬頃には、グアム島へのゴルフ旅行を企画・実行する旨、旅行幹事より提案があり、参加者全員が賛成・承認したことも付記いたします。

中島 晴喜 (S33・商)



2010年度 後半の月例コンペ予定

第116回	9月28日(火)	平成俱楽部 鉢形城コース
第117回	10月15日(金)	高坂カントリークラブ 岩殿コース(ダブルコンペ)
第118回	11月9日(火)	森林公園ゴルフ俱楽部
第119回	12月10日(金)	川越カントリークラブ

(注)開催月度の1ヶ月前に幹事より詳細を案内します。

第112回月例コンペ優勝

—於：石坂カントリークラブ—

横山 正雄 (S38・政経)

当日は悪天候によりハーフ打切り決着での優勝で、参加の皆様に申し訳ない気持でしたが、この榮誉に浴する事に感謝と喜びで一杯あります。当日を振り返って見ますと、次のラッキー要素が重なった結果だと思います。

1. 当ゴルフ場には開設時頗る頻繁にきていた事
2. 小島様、牛山様、心優しいご両名とスリーサムにてゆったりとプレーできた事
3. キャディーさんのアドバイスを聞き、珍しくスリーバットゼロであった事
4. 最近の傾向としてOut・Inの差10打以上がハーフで終わった事

次回から新ハンディキャップでの厳しいプレーが予想されますが、体力作りと練習に励み、頑張る所存です。スコアアップの抱負は自分なりにありますが、恥ずかしいので心にしまって置きます。ゴルフに対するハートに限り現在青春真っ只中です。技量云々はともかくとして、この大好きなゲームを通して、素晴らしい練馬総門会の皆様と末永く交誼が出来ますよう祈念いたします。（優勝の祝い酒にて酩酊の様子）

2010.8.24



• ∞ • ∞ • ∞ • ∞ • ∞ • ∞ • ∞ • ∞ •

第113回月例コンペ優勝

—於：鳩山カントリークラブ—

後藤 修一郎 (S44・商)

4月20日鳩山カントリークラブにて、第113回練馬総門会ゴルフコンペに始めて優勝させていただきました。年1、2度しか参加できず、自分のハンディも良く解らずプレーしていました。前半は56近く叩き、いつもの私のゴルフだと思っておりましたが、後半は一緒にプレーするメンバーとも打ち解け、気楽に力まないゴルフができました。結果は105の相変わらずの成績に終わりました。

パーティー会場では、賞とは無縁の表彰式を待っていましたら、私の名前が呼ばれたのには“びっくり”。この事は中島部長の粋な計らいで、メンバー全員に一度は優勝を経験させてあげたいと考えられた親心のお陰と感謝しております。従いまして、次回からは、今まで以上にボールを叩き、二度と優勝する事のない様に心掛けてプレーに臨む覚悟でおります。総門会ゴルフの皆様方と楽しく、和気藹々の中、プレーをし、これからも益々発展していく事を願い、初優勝の報告とさせていただきます。



◇ ねりとう GOLF は 健 康 第 一 ◇

第114回月例コンペ優勝、—於飯能グリーンカントリークラブ—

—WK戦とダブルコンペ—

中島 晴喜 (S33・商学)

5月20日(木)は、雨模様の予報が外れ、五月晴れの絶好のゴルフ日和となり、第8回練馬早慶対抗ゴルフ大会とのダブルコンペが、飯能グリーンカントリークラブでの開催となりました。今年の早慶定期戦は練馬三田会の当番幹事であり、稻門会の参加数21名を加えて32名の合同コンペとなり、その中の月例会優勝でした。スコアはグロス80で、ベストグロス賞も併せて獲得させて頂きました。当日は特にグリーンへの寄せとバットが好調で、2番ホール(パー5)では、1打目を隣のホールへミスショットしたにも拘らず、最後はグリーン手前のバンカーから直接カップインでバーをセーブしたので印象深いです。バット数も前半11、そして後半15の計26と最近では少し振りの最小バット数で収めたことがトータルの好スコアにつながったものと思います。上記の結果来る10月度予定の過去2年間の月例優勝者17名による決勝ラウンドにエントリーする事ができたのが率直に嬉しい限りです。ちなみに早慶対抗団体戦は、W=3686に対し、K=383.0で、練馬稻門会の圧勝となり、対戦成績は通算7勝1敗となりました。

• ○ • ○ • ○ • ○ • ○ • ○ • ○ •

第115回月例コンペ優勝 —於清澄ゴルフ倶楽部—

大森 連司 (S37・政経)

冬季はスキー場通いが忙しく、久々に4月と6月の月例コンペに参加させて頂きました。当日は快晴無風絶好のゴルフ日和で、パートナーは超飛ばし屋の横山さん、時々飛ばしすぎて隣のコースで丁重なご挨拶をされていました。対象的にステディゴルフの牛山さん、そして明るいキャディさんとの会話もはずんで、終日ルンルンとゴルフを楽しみました。さて、いつもの通り風呂から上がってパーティ会場に入ると、いきなり皆さんから“大森さんいっくに頂点に登りつめましたね”と声をかけられ、一瞬とまどいましたが、すぐに優勝とわかり、嬉しいと言うより面白い思いでした。スコアは52、52の低位安定です。思うに、ハンディを30戴いた上、ラッキーなショットも重なり、何よりもベテラン先輩方の調子が今ひとつだった事が、優勝の幸運をもたらしたようです。20代の後半、会社先輩のお供でゴルフを始めて以来、終始一貫、自己流ゴルフで今日に至り、思えばコンペの優勝はほんの数回です。自宅のトロフィーも今回が三つ目で、びっくりした女房殿がうやうやしく書棚に飾ってくれました。有難い事です。10月には優勝カップ取扱戦有りとの事、修練を重ねて再度の栄冠をめざします。



◇ねりとうGolfは生涯スポーツ◇

【幹事会よりのお知らせ】、

- 月例コンペを実施して以来、平成20年9月の第100回を記念して設けた「優勝杯」の決勝ラウンドを来る10月15日（金）に高坂カントリークラブにおいて、実施する予定です。
その参加資格者は以下の17名（第116回優勝者を含む）となっています。
- なお、当月は第117回の月例コンペも同時に開催し、ダブルコンペといたします。
あらかじめお知らせいたしますとともに、多数のゴルフ部会員の参加をお待ちします。

◇月例（第100回以降）コンペ優勝者一覧◇

月例回数	実施（平成）年月日（曜日）	コース名	優勝者氏名	スコア	決勝ラウンドHdps
100回	20: 9: 20 (火)	霞ヶ関 C/C	高崎 龍介	101 (49+52) -26=75	1 3
101回	20: 10: 9 (木)	日高 C/C	戸津川 隆久	79 (40+39) -11=68	5
102回	20: 11: 13 (木)	小川 C/C	鈴木 修	96 (48+48) -24=72	1 6
103回	20: 12: 11 (木)	鳩山 C/C	五十嵐 修三	99 (49+50) -26=73	1 8
104回	21: 3: 24 (火)	日高 C/C	小松 裕伴	93 (43+50) -21=72	1 5
105回	21: 4: 14 (火)	石坂 G/C	林 宏	99 (48+51) -30=69	2 1
106回	21: 5: 14 (木)	鳩山 C/C	剣持 典夫	91 (48+43) -22=69	1 5
107回	21: 6: 3 (水)	ニドムクラシック	矢沢 酉二	101 (51+50) -30=71	2 1
108回	21: 9: 29 (火)	飯能 G/C	鶴島 琢夫	94 (48+46) -22=72	1 5
109回	21: 10: 20 (火)	常陽 C/C	土屋 敏子	101 (49+52) -30=71	2 1
110回	21: 11: 12 (木)	富岡 C/C	小松 温子	104 (50+54) -29=75	2 0
111回	21: 12: 10 (木)	清澄 G/C	西山 隆司	88 (44+44) -16=72	1 1
112回	22: 3: 24 (木)	石坂 G/C	横山 正雄	44 (44+0) -7.5=36.5	9
113回	22: 4: 20 (火)	鳩山 C/C	後藤 修一郎	105 (48+57) -33=72	2 3
114回	22: 5: 20 (木)	飯能グリーン C/C	中島 晴喜	80 (39+41) -9=71	6
115回	22: 6: 11 (金)	清澄 G/C	大森 速司	104 (52+52) -30=74	2 1
116回	22: 9: 28 (火)	平成俱乐部	?	?	?
117回	22: 10: 15 (金)	高坂 C/C	?	?	?

[会計報告] 平成21年8月～平成22年6月 (単位:円)

(収入) 1. 会費 (3,000円×延べ172名)	516,000	(支出) 1. 賞品代(8回) 2. パーティ代(8回)	244,745 238,340
2. チャリティ(8回)	63,600	3. 「会報誌」発行代(2回)	47,110
3. 前期よりの繰越	13,546	4. 切手・コピーデ等	31,365
合 计	593,146	5. 次期繰越し	31,586
		合 计	593,146

◇ねりとうGolfはFace to Face ◇

“ゴルフ 雜感”

利根川 洋一 (S35・政経)



ゴルフを習い始めたのは30歳の頃ながら、40年以上も前になる。初めてのコースは、相武C.Cで、その時のことは、今でも鮮明に覚えている。一打目が空振り、二打目がショロ、早く人目から逃れたい一心だった。下手でもゴルフに対する興味は尽きず、練習場に通い、手のひらはマメだらけ。プレーの前日は子供達足同様、寝付きが悪かった。練習とプレーを重ねるにつれ、ルールを覚え、技術も徐々にアップし、ベストスコアは74で、ハーフ30台もたまに出るようになった。この頃は時間がどれれば、1.5ラウンドは当たり前だった。40歳代から50歳代にかけてがピークで、60歳も後半になると、ゴルフに対する情熱もうすれ出し、ライフスタイルは一変した。旅行、音楽会、歴史物を中心とした読書、野菜作り、練馬区のボランティア、早朝ウォーキング等々である。しかし、ナイスショットをした時の白球が、青空を舞うシーンは今でも脳裏から消えない。

* ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ *

“ゴルフ 雜感”（夢よもう一度）

牛山 彰紀 (S44・教育)



私がゴルフとの出会いは学生時代、父がメンバーであった浮間の赤羽ゴルフクラブで、キャディのアルバイトをしたことからスタートしました。父は努力の人で、毎朝、赤羽でコースを回ってから仕事を行き、まもなくシングルになりました。その父からスタンスの取り方、球の位置、スイングなどいろいろ教えてもらいました。その頃は、練習もよくして、コースに出ると我ながらうまくなったという実感がありました。その後、税理士試験のため会社を辞め、会計事務所に移り、勉強のためゴルフを中断していました。無事資格をとり仕事も軌道にのり、40歳中ばに独立開業したので、再びゴルフを始めました。その時は10年以上のブランクがありましたが、力みもなく、そこそこのスコアで回ることが出来ました。そしてなんと2000年夏、ホワイトバーC.C8番ホール148ヤードで、ホールインワンを記録しました。当時は絶好調で、もう一つのショートもバーディで、ハーフのショート3というスコアでした。そこから苦難が始まり、ショートとなると夢よもう一度とばかり力が入るようになり、ウッドもアイアンも乱れました。仲間には「前はもっと上手だった」とか、「ゴルフを辞めたら」と言われる始末です。そんな言葉にくじけることなく、稻門会の諸先輩にいろいろ教えて頂きながら、少しでも皆さんと楽しく回れるよう頑張っていこうと思っています。

◇ ねりとう Golf で Friend - Ship 向上 ◇

“ゴルフ 雍感” — 3G —

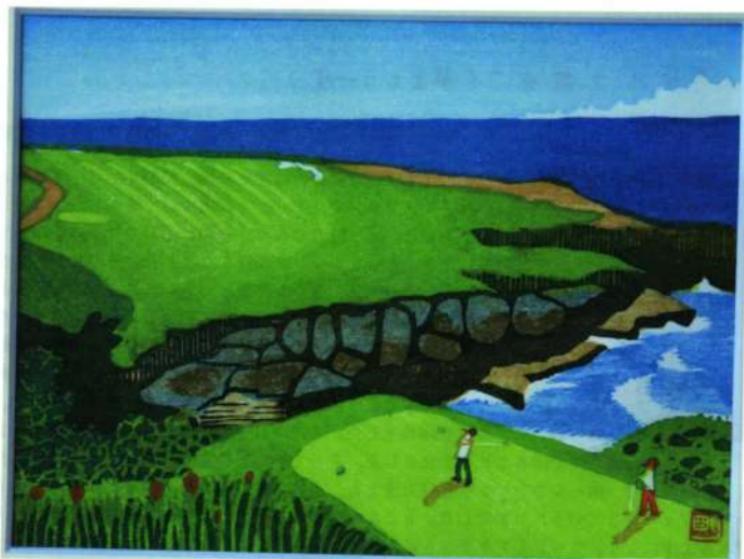
石渡 明雄 (S31・理工)



私の趣味はゴルフのG、囲碁のG、木版画のGの3Gで表される。

木版画は、会社を退いた時、ボケ防止のために始めたのだが、時を重ねるに従い虜になり、毎日欠かさず版木に向かい合っている。苦労して出来上がった時の満足感は格別で、次の作品作りのパワーとなっている。囲碁は頭の体操と勝手な理屈をつけ、碁敵と手合をしている。練馬稻門会の囲碁会には毎回出席している。

ゴルフは、四十数年のキャリアがあるが、年を重ねる度にスコアが悪くなっている。しかし、ゴルフの楽しさは、広大な大自然の中でプレーをすることで、美しい風景を見ながら白球を飛ばすのが、ゴルフの醍醐味と考えている。数年前、当部会でプレーしたサイパンのKゴルフ場の海越えのホールは、今なお脳裏に焼きついている。紺碧の空、群青の海、入江の黒ずんだ断崖絶壁、波打際の白波、海越えの鮮やかな緑の芝生、处处に南国特有の花が咲き乱れ、これらの調和が絶景をかもし出しており、感動したことがあった。再度心に残るコースでプレーをし、感動を味わいたいものだ。今後とも加齢に負けず、3Gを通して人生をより豊かにしていきたいと考えている。



木版画 — キングフィッシャーゴルフリンクス (サイパン島)

ねりとうGOLF 2010年夏 Vol. 4 発行日：平成22年8月10日

発行：練馬稻門会ゴルフ部会 電話：03-3994-8212 F a x：03-3994-8219

編集：中島 晴喜 吉田 幸治

